日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	スポーツ実習1

科目基礎情報

開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース	開設期	通年
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	演習
教科書/教材	レジュメ・資料を配布する。				

担当教員情報

担当教員	志鎌克彦	実務経験の有無・職種	無

学習目的

この科目では、知識・技術の習得と共に、集団生活により他者との円滑なコミュニケーション能力の向上にも努めるものとする。冬季スポーツの代表ともいえるスキー・スノーボードを通して、スポーツの楽しさなどを体験し、高年齢化社会における生涯スポーツの大切さを学ぶ。初心者、初級者、中・上級者など個々のスキルに合わせた目標を設定し、各ステップに合った目標設定の元、技術習得に努めるものとする。また集団生活におけるコミュニケーション能力の向上も目的とし、円滑な人間関係の構築に役立てるスキルの習得にも努めるものとする。

到達目標

この科目では、習得した滑走技術を駆使し、あらゆる雪質や斜面を安全に滑走できるようになる事を目標とする。初心者は、両スキーが平行に回転する感じを身につけ、最終的には初歩的なパラレルターンができるようになる事を目標とする。初級者は、今後の上達に弊害を及ぼすクセを修正し、中斜面でもパラレルターンができるようになる事を目標とする。中・上級者は、一定のスピードで自分の回転弧を自由に調節し、あらゆる斜面でパラレルターンの大回りと小回りができるようになる事を目標とする。また、集団生活により学年・クラスを超えた人間関係を構築する。

教育方法等

授業概要	冬季スポーツの特性を活かし、全身の筋肉をしなやかに、弾力的に使いながら、巧緻性や集中力を高める。一方で、授業で習得したそれぞれの滑走技術を駆使しながら、あらゆる雪質・斜面を安全に克服し、スキー・スノーボードの楽しさ、奥深さを実感し、自然・人・体験など多くの出会いを通して、心の豊かさ，生きるための創造力を涵養する。
注意点	各自、自己のスキルにあったスキー・スノーボードスクールのコースを事前に選択すること。コース選択時に決して無理のないコースを選択するようにし、各コースのインストラクターの指示の元、安全な滑走に努めること。自由滑走時には、必ず数名のグループで行動し、決して単独行動をすることがないようにする。ただし、授業時数の４分の３以上出席しない者は単位として認定することができない。

	種別	割合	備　　考
評価方法	試験・課題	0%	
	小テスト	0%	
	レポート	40%	授業内容の理解度を確認するために実施する
	成果発表（口頭・実技）	40%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

授業計画（１回～１５回）

回	授業内容	各回の到達目標
１回	事前説明・オリエンテーション	全行程の大まかな理解と個々の目標を理解する
２回	スキー・スノーボードスクール(1)	各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする
３回	スキー・スノーボードスクール(2)	各自のスキルに合った到達目標技術の習得をする
４回	自由滑走(1)	スクール時に習った技術を確認し理解する
５回	自由滑走(2)	スクール時に習った技術を確認し理解する
６回	オリエンテーション(1)	他者との意見交換をし、技術習得ができているかの確認をする
７回	自由滑走(3)	スクール時に習った技術を確認し理解する
８回	自由滑走(4)	スクール時に習った技術を確認し理解する
９回	自由滑走(5)	スクール時に習った技術を確認し理解する
１０回	自由滑走(6)	スクール時に習った技術を確認し理解する
１１回	オリエンテーション(2)	他者との意見交換をし、技術習得ができているかの確認をする
１２回	自由滑走(7)	スクール時に習った技術を確認し理解する
１３回	自由滑走(8)	スクール時に習った技術を確認し理解する
１４回	レポート作成	レポートを作成し、理解できたか習得できたかの確認をする
１５回	成果発表	各自この科目にて得た成果などについて発表をする